

すすきのアイスワールド2026(第46回)開催結果について

1 会期 2026年2月4日(水)～11日(水・祝)【8日間】

2 会場 札幌駅前通(南4条通から南6条) ※昨年比、3分の2の規模に縮小して開催

3 観客数 1,378,000人(前回比 35%増)

回数	2026(第46回)	2025(第45回)	2024(第44回)
来場者数	1,378,000人	1,022,000人	1,136,000人

<参考>第45回開催日程 2025年2月4日(火)～11日(火・祝)

第44回開催日程 2024年2月4日(日)～11日(日・祝)

4 氷像数

60基 前回:60基

5 開催結果の総括

- ・開催初日の暖気により氷像が白濁する影響はあったが、「氷の水族館」を中心に会場は大いに賑わいを見せた。
- ・海外観光客が多数来場し、特に欧米圏の増加が顕著であった。多言語版ガイドブック(1,000部)は好評を博し、会期中にすべて配布を完了した。
- ・「氷像制作実演」では、チェーンソーとノミによる迫力ある制作風景に歓喜と拍手が沸き起こった。特にハートや魚の氷像を手に取り撮影する姿が見られ長蛇の列となっていた。また、降雪時の除雪作業(ブロワー使用)を珍しそうに撮影する来場者の姿も多く確認された。
- ・周辺の飲食店(ジンギスカン・ラーメン店等)では、開催終了後も長蛇の列が続くなど、地域経済への強い波及効果が確認された。

6 会場管理・安全対策

昨年の突風による氷像倒壊を教訓に、本年は「維持管理の徹底」と「安全確保」を実施。

- ・氷彫刻会員による毎日の点検・除雪等の維持管理を徹底するとともに、路面状況に応じて随時の「砂まき」を実施し、常に安全で快適な観覧環境の維持に努めた。
- ・コンクール氷像の台座は低重心化し、台座と氷像を強固に固定することで、氷像の安定性を向上させるとともに、万が一の倒壊時に備え、氷像と観覧者の距離を従来の50cmから90cmへと拡大した。
- ・2月10日(火)夜、暖気により氷像1基が倒壊したが、確保した安全距離と設計上の配慮により、観覧者への影響はなく負傷者ゼロで会期を終了した。

【問い合わせ先】

2月11日(水) 23時30分まで:現地運営本部

2月12日(木) 以降:すすきの観光協会 電話 518-2005